


瀬ヶ崎小学校における初動対応シート

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	大津波警報	2次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡・引き渡し	防災拠点機能
授業中	校長・副校長	地震発生	<緊急放送で安全確保の指示> <テレビ・ラジオ等で地震・津波警報等の確認と最新情報を入手>	津波の危険が迫っている場合は、1次避難せず、直接2次避難場所へ 統轄本部設置 校長は、校長室(職員室)で指揮 <緊急放送で全校避難を指示> 副校長は、すぐに校庭へ	<人数と安否確認> 児童→担任→学年主任→副校長→校長 ①周囲の被害状況の把握 ②2次避難の準備・計画 ③負傷者の確認と手当 ④児童生徒の不安緩和 ⑤病院等の医療機関との連携	大津波の襲来予想	1次避難を省略した場合は、2次避難場所で行うべきことを実施する。 <警報を受け、校舎最上階への避難指示> <津波情報の確認と最新情報を入手> ※事前に場所を決めておく <校舎最上階への避難誘導> <的確な情報を与え、落ち着くように指示> <input type="checkbox"/> 救出・救急医療班 活動継続 <input type="checkbox"/> 消火・安全点検班 活動継続		<学校教育事務所へ連絡> (第1次報告に変更がある場合) <区災害対策本部へ連絡> ※防災無線、FAXの活用	<統轄本部で情報収集> ①学校周辺の被害状況 ②公共交通機関等の運行状況 ③携帯電話への接続状況 ④保護者への連絡方法の確認 保護者へ連絡 ①一斉メールによる連絡 連絡とれた / 連絡とれず 引き渡し / 留め置き	<区役所との連携> <防災拠点運営の支援> 地域防災拠点マニュアルに沿って支援開始 待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続
	教職員		<的確な指示> ①「頭部をまもれ」 ②「机の下にもぐれ」 ③「机の脚をもて」 ④「安心するような声かけ」	<校庭へ避難誘導> ①名簿・引き渡しカード・ホイッスル等の携帯 ②配慮を要する子どもへの対応 ③トイレ、特別教室等に児童生徒が残っていないか確認	<1次避難状況を学校教育事務所へ報告>(1次報告:FAX) <施設被害状況の把握> <危険箇所の立入禁止措置> <input type="checkbox"/> 救出・救急医療班 活動開始 <input type="checkbox"/> 消火・安全点検班 活動開始		<警報を受け、校舎最上階への避難指示> <津波情報の確認と最新情報を入手> ※事前に場所を決めておく <校舎最上階への避難誘導> <的確な情報を与え、落ち着くように指示> <input type="checkbox"/> 救出・救急医療班 活動継続 <input type="checkbox"/> 消火・安全点検班 活動継続	<役割分担に従って行動> ①学校、地域の被害状況把握(通学路等も...) ②ライフライン、公共交通機関の状況 ③負傷者への対応 ④危険箇所の確認と立入禁止の表示 ⑤不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭中心に)	<下校> ①保護者への引き渡し ②集団下校 ③留め置き	<待避場所の確保・食糧の確保・保護者への連絡継続	
	児童生徒	<揺れがおさまるのを待つ> 机の下にもぐり、落下物から身を守る	<落ち着いて移動> 防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きそのまま移動 <おかしもの約束> おさない かけない しゃべらない もどらない	<負傷者がいる場合は助け合う> ①勝手な行動をとらない ②私語をつつしむ	<落ち着いて移動> 防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きそのまま移動 教員の指示に従い、急いで集合場所へ移動	<負傷者がいる場合は助け合う> ①勝手な行動をとらない ②私語をつつしむ	<避難場所ですぐに待つ> <指示に従って、帰宅準備を行う>	<下校> ①保護者への引き渡し ②集団下校 ③留め置き	<待避場所の確保・食糧の確保・保護者への連絡継続		
大地震発生・大津波警報発表 登下校中	校長・副校長	地震発生	災害対策本部設置	統轄本部設置 校長は、校長室(職員室)で指揮	<安否確認> <1次避難状況を学校教育事務所へ報告>(1次報告:FAX)	大津波の襲来予想	<警報を受け、校舎最上階への避難指示> <津波情報の確認と最新情報を入手>	<人数と安否確認> 児童生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ①周囲の被害状況の把握 ②負傷者の確認と手当 ③児童生徒の不安緩和 ④病院等の医療機関との連携	<学校教育事務所へ連絡> (第1次報告に変更がある場合) <区災害対策本部へ連絡> ※防災無線、FAXの活用	<統轄本部で情報収集> ①学校周辺の被害状況 ②公共交通機関等の運行状況 ③携帯電話への接続状況 ④保護者への連絡方法の確認 保護者へ連絡 ①一斉メールによる連絡 連絡とれた / 連絡とれず 引き渡し / 留め置き	<区役所との連携> <学校教育事務所との連携> <防災拠点運営の支援> 地域防災拠点マニュアルに沿って支援開始 待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続 ・不安を抱えた児童生徒への対応
	教職員		<揺れがおさまるのを待つ> ①校内を確認 ②通学路(公園等)を確認 ③避難場所を確認	<児童生徒の所在確認> ①校内を確認 ②通学路(公園等)を確認 ③避難場所を確認	<情報収集> ①学校に登校児童生徒の確認 ②帰宅した児童生徒の安否確認 ③校内施設被害状況の把握 ④危険箇所の立ち入り禁止措置		<校舎最上階へ避難誘導> <的確な情報を与え、落ち着くように指示> <input type="checkbox"/> 救出・救急医療班 活動継続 <input type="checkbox"/> 消火・安全点検班 活動継続	<役割分担に従って行動> ①学校、地域の被害状況把握(通学路等も...) ②ライフライン、公共交通機関の状況 ③負傷者への対応 ④危険箇所の確認と立入禁止の表示 ⑤不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭中心に)	<下校> ①保護者への引き渡し ②集団下校 ③留め置き	<待避場所の確保・食糧の確保・保護者への連絡継続・不安を抱えた児童生徒への対応	
	児童生徒	<揺れがおさまるのを待つ> ①高層ビル等からの落下部に注意 ②ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護	<安全な場所へ避難> 揺れが収まる → 学校 校庭等、安全な場所に避難 自宅 帰宅した場合は、学校へ連絡		<学校> ①落ち着いて行動する ②防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きそのまま移動 <自宅>(保護者とともに) ①出来るだけ高い場所へ避難 ②落ち着いたら、市の指定した避難場所へ	<負傷者がいる場合は助け合う> 勝手な行動をとらない 私語をつつしむ	<避難場所ですぐに待つ> <指示に従って、帰宅準備を行う>	<下校> ①保護者への引き渡し ②集団下校 ③留め置き	<待避場所の確保・食糧の確保・保護者への連絡継続・不安を抱えた児童		
校外学習等	校長・副校長	地震発生	<安全確保を最優先> ①地形や滞在場所の状況を確認し、安全確保を指示 ②公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う	<揺れがおさまるのを待ち、安全な場所への移動を指示>	<学校へ連絡し、状況を報告、指示を受ける> <地元の公共機関等へ連絡し、救援要請を行う> ①区役所 ②近隣の小中学校 ③警察等	大津波の襲来予想	<地元公共機関等の指示を受け、近隣ビルの最上階又は近くの丘陵地への避難誘導> <津波情報の確認と最新情報を入手> <学校へ詳細を連絡し、指示を受ける>	<人数と安否確認> ①周囲の被害状況の把握 ②負傷者の確認と手当 ③児童生徒の不安緩和 ④地元病院等の医療機関との連携	<学校における今後の対応策の検討> ①現地からの報告を受け、学校教育事務所に報告 ②保護者へ連絡 ・現状の説明(安否についても) ・帰宅方法等について ③現地から帰宅させる交通手段等の手配 ④地元公共機関への応援要請 ⑤現地への教職員派遣		
	教職員		<揺れがおさまるのを待って、安全な場所へ退避させる>	<児童生徒を安全な場所へ移動させる> <公共交通機関を使用している場合は、乗務員の避難指示に従う>			<教員や地元の方々の指示に従う> ①落ち着いて行動する ②勝手な行動をとらない ③教師とはぐれた時は、動かず、その場で待つ	<学校における今後の対応策の検討> ①現地からの報告を受け、学校教育事務所に報告 ②保護者へ連絡 ・現状の説明(安否についても) ・帰宅方法等について ③現地から帰宅させる交通手段等の手配 ④地元公共機関への応援要請 ⑤現地への教職員派遣			
	児童生徒		<揺れがおさまるのを待つ> ①高層ビル等からの落下部に注意 ②ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護	<安全な場所へ避難> ①教員や公共交通機関の乗務員の避難指示に従う ②教師とはぐれた時は、動かず、その場で待つ	<負傷者がいる場合は助け合う> ①勝手な行動をとらない ②私語をつつしむ		<教員や地元の方々の指示に従う> ①落ち着いて行動する ②勝手な行動をとらない ③教師とはぐれた時は、動かず、その場で待つ		<学校における今後の対応策の検討> ①現地からの報告を受け、学校教育事務所に報告 ②保護者へ連絡 ・現状の説明(安否についても) ・帰宅方法等について ③現地から帰宅させる交通手段等の手配 ④地元公共機関への応援要請 ⑤現地への教職員派遣		

瀬ヶ崎小学校における初動対応シート

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	津波情報	2次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡・ 引き渡し	防災拠点機能 <学校に留まっていられる場合>
大地震発生・大津波警報発表	校長・副校長 教職員 児童生徒 各学校の特記事項	 <p>地震発生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎緊急放送で安全確保の指示 ◎テレビ・ラジオ等で地震・津波警報等の確認と最新情報を入手 	<p>地震が収まったら</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎校長は、校長室(職員室)で指揮 ・緊急放送で全校避難を指示 ◎副校長は、すぐに校舎へ ・デジタル防災無線を携帯する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎人数と安否確認 児童→担任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・二次避難の準備・計画 ・負傷者の確認と手当 ・児童の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携 <p><1次避難状況を学校教育事務所へ報告>(1次報告:様式2 FAX等)</p>	<p>津波の危険が迫っている場合は、1次避難せず、直接2次避難場所へ</p> <p>大津波襲来予想</p>	<p>1次避難を省略した場合は、2次避難場所</p> <p>◎警報を受け、B棟4階への避難指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波情報の確認と最新情報を入手 <p>※事前に避難場所と経路を法めておく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎人数と安否確認 児童→担任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・負傷者の確認と手当 ・児童の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校教育事務所へ連絡(第1次報告に変更がある場合) ◎区災害対策本部へ連絡 ※デジタル防災無線、FAXの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◎統轄本部で情報収集 ・学校周辺の被害状況 ・公共交通機関等の運行状況 ・通信手段の開通状況 ・保護者への連絡方法の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ◎区災害対策本部との連携 ◎学校教育事務所との連携 ◎防災拠点運営の協力
			<ul style="list-style-type: none"> ◎的確な指示 ・「頭部をまもれ」 ・「机の下にもぐれ」 ・「机の脚をもって」 ・「安心するような声かけ」 	<ul style="list-style-type: none"> ◎校舎へ避難誘導 ・名簿・引き渡しカード等の携帯 ・配慮を要する子どもへの対応 ・トイレ、特別教室等に児童生徒が残っていないか確認 	<p>災害対策本部設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 救出・救急医療班活動開始 消火・安全点検班活動開始 <p>◎施設被害状況の把握</p> <p>◎危険箇所の立入禁止措置</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◎B棟4階へ避難誘導 ◎的確な情報を与え、落ち着くように指示 	<ul style="list-style-type: none"> 救出・救急医療班活動継続 消火・安全点検班活動継続 	<ul style="list-style-type: none"> ◎役割分担に従って行動 ・学校、地域の被害状況把握(安全な場合は通学路等も・・・) ・ライフライン、公共交通機関の状況 ・負傷者への対応 ・危険箇所の確認と立入禁止の表示 ・不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭中心に) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎引き渡しの手順 ・電話による連絡 ・メール配信 <p>連絡とれず、または、危険で保護者の引</p> <p>留め置き</p>	<p>地域防災拠点マニュアルに沿って協力開</p> <p>・待避場所の確保</p> <p>・食糧の確保</p> <p>・保護者への連絡</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ◎揺れがおさまるのを待つ ・机の下にもぐり、落下物から身を守る 	<ul style="list-style-type: none"> ◎落ち着いて移動 ・防災頭巾・タタメット・ヘルメットで頭部を保護しながら上履きのまま移動 ◎「おかしもの約束おさない かけない しやべらない もどらない」 	<ul style="list-style-type: none"> ◎負傷者がいる場合は助け合う ・勝手な行動をとらない ・私語をつつしむ 		<ul style="list-style-type: none"> ◎落ち着いて移動 ・防災頭巾・タタメット・ヘルメットで頭部を保護しながら上履きのまま移動 ・教員の指示に従い、急いで避難場所へ移動 	<ul style="list-style-type: none"> ◎負傷者がいる場合は助け合う ・勝手な行動をとらない ・私語をつつしむ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎避難場所で静かに待つ ◎指示に従って、帰宅準備を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ◎下校 ・保護者への引き渡し ・留め置き 	<ul style="list-style-type: none"> ・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡
		<ul style="list-style-type: none"> ※けが人などで応援が必要な時は、黄旗を振る。 ※必要に応じて個別級には級外職員が支援に入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ※「瀬ヶ崎公園」への道を点検する。 ※国道16号の信号が動いているか確認する。 ※全児童のけがの有無を名簿に記録し、本部で保管する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※校庭に並んだ順番を考慮し、的確に避難経路の指示を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ※引き渡しは、名簿で確認しながら担任が行う。 ※事前に連絡があった場合を除き、保護者以外には引き渡さない。 	<ul style="list-style-type: none"> ※体育館または、上の階を使用する。 					